

いわき農林水産ニュース

(ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース)



5月号 発行 平成28年5月26日



『JRとまとランドいわきファーム・ワンダーファーム』が グランドオープン!!

5月20日(金)、いわき市四倉町に、「株」JRとまとランドいわきファーム」が整備を進めてきたトマト生産施設が完成し、隣接地で先に営業している6次産業化施設「株ワンダーファーム」と併せて、農と観光が結びついた新たな拠点としてグランドオープンしました。

トマト生産施設は、太陽光を利用した低コスト耐候性ハウス(2棟)で栽培面積は1.7haに及び、ハウス内では大玉・中玉・ミニトマトの11種類が栽培され、年間を通して安定した収穫が期待できます。最初の収穫は夏ごろから始まり、年間生産量は600トンが見込まれます。

収穫したトマトは、首都圏のJRグループに提供されるほか、隣接するワンダーファームの直売所や加工施設で利用されます。また、地元の市場へも出荷されます。さらに、施設では、一般の方が参加できるトマトの収穫体験なども計画しています。

記念式典には関係者ら約80人が出席し、両社の代表を務める元木社長が「農業で地域を元気にしたい。ふくしまの農業の復興に向けて邁進していきたい」とあいさつし、来賓の内堀知事は「両施設の完成は浜通りの農業生産者の明るいモデルとなるもので、地域振興の牽引役となることを期待します」との祝辞を述べられました。

このほか式典には、清水いわき市長や深沢JR東日本副社長らが出席され、式典終了後、関係者は地元の幼稚園児からトマトの苗を受け取り、植栽作業を体験しました。

【株】JRとまとランドいわきファーム／株ワンダーファーム】

- ・施設所在地：いわき市四倉町中島字広町
- ・電話番号：0246-38-8770／0246-38-8851
- ・ホームページ：<http://jrtomato.co.jp/>・<http://www.wonder-farm.co.jp/>
ワンダーファームの記事は3月号で掲載。



(元木社長のあいさつ)



(テープカットの様子)



(トマトの苗植えの様子)



【アクセス】
常磐道「四倉IC」降りてすぐ！
入口は、トマトの看板が目印です。



平木材市場創立58周年 記念市が開催されました！

4月22日(金)、内郷にある(株)平木材市場の創立58周年記念式典及び記念市が行われました。

式典には、林業・木材関係者約80名が出席し、同社齋藤公男社長から、「これまで市場が続けられたのは、関係者による支援があったからこそであり、今後も国産材の安定供給に努めるとともに、国産材を活用し地元経済の活性化につなげたい」とあいさつがありました。

また、平成27年度の優秀買方、優秀荷主の表彰が行われました。

記念市では、同社長の元気な競りのかけ声が響き、いわき市の材を中心とした約3,000m³の素材が取引されました。



(齋藤公男社長のあいさつ)



(競りの様子)

(森林林業部)



「緑の募金」街頭募金が 実施されました！

4月23日(土)、いわき市緑化推進委員会の主催による「緑の募金」街頭募金がいわき・ら・ら・ミュウ及びアクアマリンパークにおいて実施されました。

この街頭募金は、毎年、4月1日～5月31日の「緑の募金運動推進期間」に実施されており、今年は「夢託す 小さな苗に 大きな未来」をテーマに、いわき市立藤原小学校緑の少年団15名とサンシャインガイドいわき2名、磐城森林管理署、いわき市森林組合、県造園建設業協会いわき支部及びいわき農林事務所の協力のもとに行われました。

当日は好天に恵まれ多くの観光客が会場を訪れる中、活動場所の随所で少年団の募金を呼びかける元気な声が響きました。募金は、観光客だけでなく地元商店街の方々からも寄せられました。

募金に協力をいただいた方には、緑の羽根のほか、ガザニアやマリーゴールドなどの花の苗が緑の少年団より配られ、色鮮やかな花の苗を手にした親子連れなどが笑顔を増かせる光景があちらこちらで見られました。

地域緑化推進のため、これからも「緑の募金」にご協力をよろしくお願いいたします。



(募金をしていただきました)

(森林林業部)





試験操業の状況

(1) 底びき網試験操業結果

4月の底びき網漁は4月6日(水)から26日(火)までに5回行われ、前年同月の約2倍の量にあたる23.5トンの水揚げがありました。これは、昨年9月から小型機船底びき網14隻が試験操業に参加したことに加え、メヒカリ、ヤナギムシガレイ等が好漁だったことによります。

また、いわき地区では4月から週2回操業に移行する計画でしたが、荒天のため計画どおりの操業ができず、週2回操業は5月へと持ち越しになりました。



(底びき網試験操業の水揚げ風景)

(2) アワビ試験操業

5月12日(木)に試験操業で漁獲したアワビが初出荷されました。

今回出荷されたアワビは、6日(金)と9日(月)に市内5か所の漁場で獲れた約60個(20kg)で、県内市場のほか、東京・築地市場へ仕向けられ、1キロ当たり2万円を超える高値で取引されました。

アワビの試験操業は3年目に入り、少しずつですが価格が向上しています。試験操業で漁獲されるアワビは震災以前に比べて大型かつ肉厚で、非常に良質です。今回の結果は本県産アワビへの期待と評価の高さが表れる結果となりました。



(大型で肉厚のアワビ)

(水産事務所)

栽培きのこの出荷管理について

放射性物質の影響で、いわき市産の多くの山菜等が出荷制限品目等になっています。

いわき市産の栽培きのこ(出荷制限となっている原木なめこ(露地もの)を除く)については、出荷制限等品目にはなっていませんが、きのこを出荷する場合、栽培前及び栽培時に原木・ほだ木・菌床等の生産資材の安全性の確認を県の検査機関において実施いただいております。その際に国が定める当面の指標値(きのこ原木・ほだ木50ベクレル/kg、菌床200ベクレル/kg)を上回る放射性物質が検出された場合は、販売目的のきのこ栽培には使用しないでください。

さらに、安全性が確認された生産資材により栽培したきのこについては、モニタリング検査を実施し、基準値内であることを確認した上で出荷するようにしてください。

このように、栽培きのこ生産者または出荷者には、事前に県の検査を受ける必要がありますので生産再開等を検討している場合は、いわき農林事務所森林林業部までご相談ください。

なお、栽培きのこを使用した乾燥品や水煮などの加工食品については、生産資材及び栽培きのこに関する検査のほか、加工品の放射性物質検査を行う必要がありますのでご注意願います。

(原木等の検査や栽培に関する問合せ先)

いわき農林事務所森林林業部林業課

担当：松崎・加藤・菅野

電話0246-24-6193

(森林林業部)





JA福島さくら梨部会栽培 指導会が開催されました！！

5月11日（水）～12日（木）に、JA福島さくら主催による梨部会栽培指導会が開催されました。1日目は小川・高萩地区、2日目は平窪・赤井・内郷・好間地区で開催され、各地区の部会員70名が出席しました。

いわき農林事務所では、現在の生育状況と今後の摘果作業や新梢管理、主要病害である黒星病防除について説明を行いました。

特に、摘果作業は梨の品種ごとに最適な果実を選択しなくてはならないため、経験と手間がかかる作業です。主要品種である「幸水」は、初期生育の良否が収穫果実に大きく影響するため、5月までに作業を終え初期生育を促進させる必要があります。

今年の生育は昨年同様に早まりましたが、授粉作業が順調に行われたため、着果状況は良好です。

今年も「サンシャインいわき梨」のブランド力向上に向け、おいしい梨作りを支援していきます。



（ほ場での指導会）



（生産者への指導風景）
（農業振興普及部）

いわき地区広域営農団地 農道整備促進期成同盟会総会が 開催されました！

5月13日（金）、広域営農団地農道整備事業「いわき地区」の整備促進を目的に活動を行っている「いわき地区広域営農団地農道整備促進期成同盟会」の総会が開催され、いわき農林事務所では、これまでの整備状況、今後の事業計画や今年度の工事内容について説明を行いました。

当該地区は、市北部の中山間地域の農業振興や地域住民の生活向上を図るための重要な路線として、小川町から四倉町を起終点に、平成3年度から事業を実施しています。

平成28年度は、昨年度仁井田川に架かった橋梁の前後の道路改良舗装を予定しており、平成29年度中には、終点部の四倉町玉山から小川町福岡までの約9km区間の供用を目指しています。

一方、小川町の残工事区間には、橋梁の建設や大規模な土砂掘削への対策などが必要なことから、詳細な調査・設計を実施しながら、工事着手に向けて準備を進めているところです。

いわきの地域振興のため、職員一丸となって事業を進めて参ります。



（期成同盟会総会の様子）



（四倉町玉山（道路終点部）実施状況）
（農村整備部）



いわき地方の農林水産物 モニタリング検査結果

農林畜産物の検査結果

福島県が行った、いわき地方の4月の農林畜産物の放射性物質モニタリング検査結果(表1)をお知らせします。

(表1) 農林水産物の検査結果(4月末現在)

1点も検出されなかった品目と検体数	検体の一部が検出された品目と検体数			計
9品目	1品目(タラノメ)			10品目
	検出下限値以下の検体	基準値内で検出された検体	基準値超で検出された検体	
20検体	0検体	1検体	0検体	21検体

検査した10品目21検体のうち、9品目20検体において、放射性セシウムが検査機器の検出限界値以下でした。内訳は(表2)のとおりです。

(表2) 放射性セシウムが1点も検出されなかった品目と検体数

アスパラガス(施設) 1、トマト(施設) 3、ミニトマト(施設) 2、キュウリ(施設) 2、菌床なめこ(施設) 1、菌床しいたけ(施設) 4、くさそてつ(こごみ)(野生) 1、ふき(野生) 2、原乳 4

なお、タラノメについては、1検体に100ベクレル/kg以下の放射性セシウムが検出されました。内訳は(表3)のとおりです。

(表3) 基準値内で検出された品目と検体数

品名	検体数	内訳
		100ベクレル以下
タラノメ	1	1(4.8ベクレル/kg)

4月末現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が制限されているのは、(表4)のとおりです。

(表4) 出荷制限及び出荷自粛品目(4月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限 (7品目)	野菜、根菜、芋類	—
	果物	—
	穀類	—
	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらのめ(野生のものに限る)、わらび、こしあぶら
	きのこ畜産物	原木なめこ(露地)、野生きのこ
出荷自粛 (1品目)	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

(企画部)

海産魚介類の検査結果

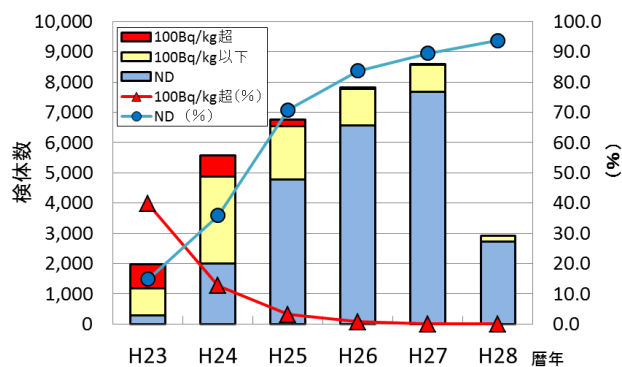
○福島県沖で採取された海産魚介類の放射性セシウム濃度は、時間の経過とともに着実に低下しています。

平成28年4月に放射性セシウムの食品としての基準値100ベクレル/kgを超えたものはありませんでした。なお、海産魚介類では平成27年4月以降基準値100ベクレル/kgを超えるものはありません。○平成27年7月以降、モニタリング検査で、放射性セシウムの不検出割合が9割を超えています。現在は安全性が確認されている魚介類73種類について試験操業が行われています。

モニタリング検体数と放射性セシウム検出の割合

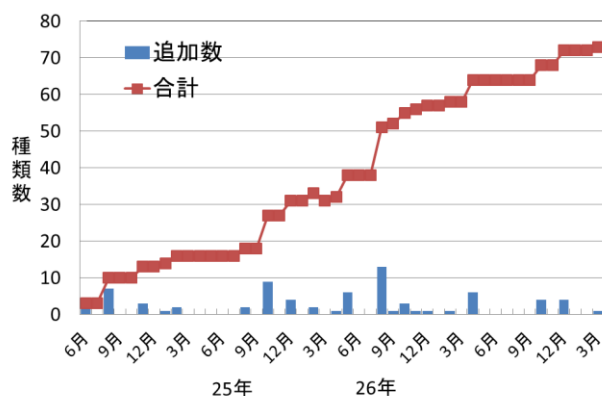
年		100Bq/kg超	100Bq/kg以下	不検出	計
H23	検体数	785	893	294	1,972
	割合(%)	39.8	45.3	14.9	100.0
H24	検体数	921	2,372	2,287	5,580
	割合(%)	16.5	42.5	41.0	100.0
H25	検体数	280	2,147	5,214	7,641
	割合(%)	3.7	28.1	68.2	100.0
H26	検体数	75	1,387	7,260	8,722
	割合(%)	0.9	15.9	83.2	100.0
H27	検体数	4	896	7,677	8,577
	割合(%)	0.05	10.4	89.5	100.0
H28	検体数	0	185	2,737	2,922
	割合(%)	0.00	6.3	93.7	100.0
計	検体数	2,065	7,880	25,469	35,414
	割合(%)	5.8	22.3	71.9	100.0

H28.4.26現在



※採取月日で集計

試験操業対象種の推移



(水産事務所)

いわきの情報をお知らせします！

福島県いわき農林事務所

いわき市平字梅本15番地(福島県いわき合同庁舎3F)
TEL.0246-24-6197 FAX.0246-24-6196

mail kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/

いわき農林事務所

検索

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」に掲載された6次化商品をご紹介します！

県では、県産の農林水産物を活用した6次化商品をPRするため「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」(平成28年3月版)を発行しました。今回は、そのカタログの中から(株)いわき福島復興オフィスのいわき市産トマトを使用した「ドライトマトのオリーブオイル漬け」をご紹介します。「美味しく体にやさしい6次化加工」をコンセプトに、医師及び管理栄養士との「医福食農連携」により企画・開発された「ドライトマトのオリーブオイル漬け」は、「ふくしま おいしい大賞2015」の惣菜部門で大賞を受賞しました。

(株)いわき福島復興オフィスの池端社長は「一般的に6次化商品はお土産での購入が中心になるが、小売店やインターネット販売など手軽な流通販売にも乗せたい」との思いから、普段の食生活で汎用性のある「ドライトマトのオリーブオイル漬け」の開発に取り組まれたそうです。

そのまま食べる場合はワインやお酒のおつまみに適していますが、チーズとの相性も抜群なのでピザやイタリアン卵焼きもおすすめです。また、残ったオリーブオイルはドレッシングに使用出来るなど、多様な食べ方が出来る一品となっておりますので是非ご賞味ください。



問い合わせ

【(株)いわき福島復興オフィス】

- いわき市平中神谷塚ノ町31-2
 - TEL.0246-68-6437
 - FAX.0246-68-6427
 - Mail.info@iwaki-tokyo.com
- 【販売箇所】
・Vege Cafe いわき駅ビル店
・インターネット販売

食彩ふくしま地産地消推進店のメニューの紹介

地産地消推進日(6月は8日(水))に合わせ、いわき農林事務所に情報提供のあった食彩ふくしま地産地消推進店のメニューを紹介いたしますので、ぜひご賞味ください。なお、店舗の都合により内容は変更される場合がありますのでご了承ください。また、営業日(メニューの実施日)については、事前にご確認ください。

○ 北の屋そばや(植田町)

地産地消メニュー：(冷)天ぷらそば・うどん、そば御馳走、天ざるそば・うどん

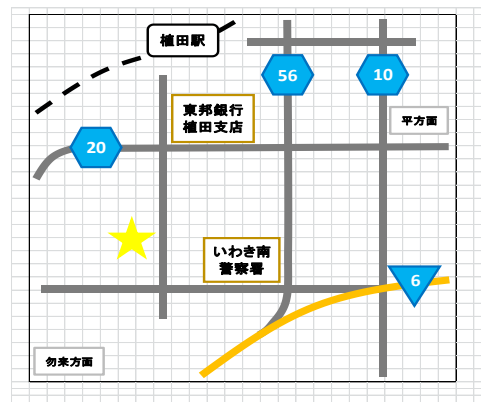
説明：提供する料理にはいわきの野菜(とろろ、カボチャ、ねぎ、大根、ナス等)をできるだけ多く使用しています。

《連絡先》

住所：植田町本町1-10-1

電話番号：0246-62-4752

《料理の写真》



SUNSHINE IWAKI

ガンシャイン いわき!

笑顔あふれる
農林業を
めざして!!










福島県いわき農林事務所(平成28年度キャッチフレーズ)

H28年度キャッチフレーズの紹介

いわき農林事務所では、各部の代表1名によるキャッチフレーズ選定委員会から、今年度のキャッチフレーズの提言を受け、職員全員の人気投票によりキャッチフレーズを決定しました。

このキャッチフレーズは、「燦々と降り注ぐいわきの太陽の光のように、農林業に携わるすべての人に、一日でも早く真の笑顔があふれるよう、所員が一丸となってスピード感と緊張感を持って目に見える成果を求めていく」という思いを込めています。

いわき農林事務所からのお知らせ

○ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報
 - (1) モニタリング情報検索
 - (2) 出荷制限等一覧表



「東日本大震災」
及び「原発事故」からの
復興のために!

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)
T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196
U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース